

# 一般会計予算160億2千7百万円

## 主な事業

### 通学路防犯灯 設置事業

(854万円)

明るい小城市をめざして二年間で六百基の通学路防犯灯を設置。今年度は二百基を設置する。

### ごみ減量化推進事業

(2,631万円)

資源物(ペットボトル、トレイ、廃プラ、古紙)の収集を各行政区近くのステーションにすることで出しやすくなる。補助金制度により整備。



▶三日月町の資源物回収ステーション

### 土地改良施設 維持管理適正化事業

(1億3,970万円)

小城市内の用排水路やかんがい施設などの定期的な整備、補修により施設の機能保持と耐用年数を確保。

### 空き店舗活性化 対策事業

(300万円)

小城町と牛津町の商店街の空き店舗を活用し、募集した中から選考した三人にチャレンジショップの開店を支援。



▲整備された防犯灯(芦刈町)

### 強い水産業づくり事業

#### ノリ共同加工場

(2億2,750万円)

ノリ共同加工場を芦刈町住ノ江地区に鉄骨平屋建二棟を建設し、ノリ漁家の労働負担の軽減、生産コストの削減をはかるもの。

#### 共同ノリ網冷凍施設

(1億5,397万円)

芦刈、福富、久保田の漁協が、共同をして、中心地となる芦刈地区に共同ノリ網冷凍施設を建設するもの。

### 三日月小学校 校舎増改築事業

(6億9,293万円)

十七年度よりの継続事業で十八年度完成予定。現在運動場東側に仮設校舎建設。南校舎の解体後北校舎西側に新校舎建設。

### 小城中学校改築事業

(10億5,472万円)

平成十七年度からの継続事業で老朽化した普通教室及び管理棟の改築を行う。現在南校舎を解体中で平成二十年完成予定。



▶小城中学校の解体作業

### 小城市緊急情報 提供システム事業

(144万円)

災害や犯罪・事件に関する幼稚園、小・中学校の保護者や関係者の携帯電話に緊急メールシステムを導入。

### 小城市子ども サポーター配置事業

(4,113万円)

注意欠陥性多動性障害(ADHD)など発達障害の児童・生徒に対応する子どもサポーター(生活介助員)を二十人に増員。

### 特別会計予算

国民健康保険事業	39億6,810万円
老人保健事業	55億6,089万円
下水道事業	33億6,798万円
簡易水道事業	1,167万円
授産場事業	4,031万円
小柳育英資金事業	660万円

### 企業会計予算

水道事業	6億3,067万円
病院事業	15億731万円



塚原 輝義氏

平成十八年五月十五日の任期満了に伴い、再度任命したもの。

小城市  
教育委員会委員



高田田鶴子氏

人権擁護委員に推薦

平成十八年六月三十日の任期満了に伴い、再度推薦したもの。

役職名	現行	改定
市長	897,000円	834,000円
助役（2人）	717,000円	666,000円
教育長	629,000円	597,000円

市長・助役・教育長の給料を減額提案

小城市の経費削減のため、給料を市長・助役が七％、教育長が五％削減する条例改正の提案があり可決された。

桜楽館など四施設指定管理者制度を導入

小城市の公の施設のうち、今年度四施設の管理、運営について市が定める指定管理者に委託することになった。生きがいデザインサービスセンターさらには、社会福祉法人慈恵会へ。小城保健福祉センター、桜楽館（さくらかん）、芦刈保健福祉セン



▶桜楽館での健康体操

ターひまわりは、小城市社会福祉協議会へ。勤労者福祉会館は、小城勤労者福祉協議会へと指定された。「公の施設」であることには変わりがないので、自治体の公的責任、住民サービスが低下しないよう見守りチェックしていくことが重要である。

牛津中学校  
改築先送り

牛津中学校は、平成十八年度より二十年度にかけて現地での改築が予定されていたが、厳しい財政状況のなか今年度の予算計上は見送られた。

築後四十六年を経過、老朽化しており、耐震構造上も危険、緊急な対応が求められている。

今年度は、小城市全体での学校施設整備計画を策定。牛津中学校の改築についてもその中の一環として検討される。

愛される市民病院をめざして早急な対応を

小城市市民病院は、四月から外科が休科状態である。外科医師二名の転勤、退職によるものであるが、全国的な医師不足のなか後任はまだ決まっていない。急患への対応や、内科・産婦人科への悪影響も懸念されており、早急



▲充実が求められる市民病院

な対応が望まれる。一方、これまで泌尿器科が週二回、循環器科が週一回開設されていたが、いずれも専門外来として常時開設されることになった。愛される市民病院をめざして今後も努力を続けてほしい。